

車名		ワゴンRスティングレー					
基礎情報	機種名	HYBRID T		HYBRID X			
	車両型式	4AA-MH55S		5AA-MH95S			
	エンジン	型式	R06A-WA05A(ターボ)		R06D-WA04C		
		総排気量(L)	0.658		0.657		
	駆動装置	トランスミッション	CVT				
		駆動方式	2WD(前2輪駆動)	フルタイム4WD	2WD(前2輪駆動)	フルタイム4WD	
	車両重量(kg)	800	850	790	840		
	備考	ハイブリッドシステム					
	燃料消費率	WLTCモード	燃料消費率(km/L) ※1 (国土交通省審査値)	23.4	21.8	25.2	24.2
			CO ₂ 排出量(g/km)	99.2	106.5	92.1	95.9
市街地モード(WLTC-L) (km/L) ※2			20.0	18.8	23.0	22.3	
郊外モード(WLTC-M) (km/L) ※2			25.0	23.3	26.5	25.1	
高速道路モード(WLTC-H) (km/L) ※2			24.2	22.4	25.4	24.5	
JC08モード		燃料消費率(km/L) ※1 (国土交通省審査値)	—	—	31.0	29.4	
		CO ₂ 排出量(g/km)	—	—	74.9	79.0	
		参考	平成27年度 燃費基準 +10%達成	平成27年度 燃費基準 達成	2020年度 燃費基準 +20%達成	2020年度 燃費基準 +20%達成	
排出ガス		適合規制・認定レベル	平成30年排ガス基準25%低減レベル		平成30年排ガス基準50%低減レベル		
		試験モード	WLTCモード				
	規制値・認定値等 (g/km)	CO	1.15		1.15		
		NMHC	0.075		0.05		
		NO _x	0.038		0.025		
低公害車指定制度等	九都県市低公害車指定制度の基準に適合						
環境対応車普及促進税制対象車 ※3	—	—	○	○			
グリーン税制対象車 ※4	—	—	○	○			
グリーン購入法適合車	—	—	○	○			
適合騒音規制レベル	平成28年規制に適合 加速騒音規制値 72dB (M1A1A)						
エアコン冷媒の種類(GWP値 ※5) / 使用量(g)	HFO-1234yf(1 ※6) / 320						
車室内VOC	自工会目標達成						
環境負荷物質削減	鉛 *1	自工会2006年目標達成(1996年使用量の1/10以下)					
	水銀 *2	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)					
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)					
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)					
	自工会目標適用除外部品	*1:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *2:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、 ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)					
環境への取り組み	リサイクル	バンパ、インストルメントパネル、ドアトリムなどにリサイクル化し易い熱可塑性樹脂を使用					
	リサイクルし易い材料を使用した部品	再生材を使用している部品					
	再生材を使用している部品	フロアカーペット裏面、ダッシュサイレンサなどの吸音材					
	樹脂・ゴム部品への材料表示	材料表示あり					
環境負荷物質使用状況 鉛	電子基板・電気部品のハンダ、圧電素子等(PZTセンサー)に使用						
その他	国内生産工場及びグループ製造会社工場にてISO14001を取得						

※1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

※2 WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

※3 ご購入時に、自動車重量税の減税措置が受けられます(2021年4月30日新車届出まで)。

※4 「グリーン化特例」により、ご購入の翌年度の軽自動車税について減税措置が受けられます(2021年3月31日新車届出まで)。

※5 GWP=Global Warming Potential(地球温暖化係数)

※6 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。